## 手を取り合い、活力、特色ある地域へ 地域運営体第3号・第4号が発足!

桧木内地域運営体の設立総会が8月22日に、また神代地域運営体の設立総会が9月5日に開催されました。

どちらの地域も、明治22年の市制・町村制の施行により誕生した地域(村)で、桧木内は、上桧木内・桧木内の二つの村の合併により、また神代は、岡崎・小松・梅沢・卒田・神代・角館東前郷の六つの村が合併し「神代村」が誕生してから、古く長い地域の融和と絆で育まれてきた地域です。

今後さらに協働・共生を図り、互いに手を取り合う本事業に取り組み「住んでよかった」「住んでみたい」と言われる、活力あるまちづくりへと歩を進めて行きます。

両総会に出席した市長は「地域運営体は一つの国と考えることができる。地域の皆さんで、魅力あふれる力強い国づくりを進めて欲しい」と、 挨拶がありました。

地域運営体による、特色ある地域づくりの新しい幕が開きました。

今年度、市では各地域に地域運営体を立ち上げる準備を進めます。随時、 説明に伺います。地域で話し合いをする場合はお知らせください。

■連絡先:仙北市政策推進課 143-1241





## 秋田内陸線グラウンド・ゴルフ交流大会真剣プレーで親睦深める

9月3日、桧木内川河川公園を会場に、 内陸線の利用促進と沿線地域のグラウンド・ ゴルフ愛好者の親睦交流を目的として開催 されました。

大館市からの参加も含め 100 名を超える 参加者が、この日のために特別に設定した 4 コース 32 ホールで自慢の腕を競い合いまし た。あいにく雨模様での開催でしたが、真 剣なプレーの中、お互いに親睦を深め、心 地よい汗を流しました。

実行委員長(大牧徳二郎 西木グラウンド・ゴルフ協会長)は「内陸線を通じお互いの地域や文化のすばらしさを発見し、大会をきっかけに市民交流の輪が広がってくれたらうれしい」と話していました。



#### 「第 41 回生保内節盆踊り」 盛況、300 人が踊り楽しむ



人踊た 音観終



西馬内盆踊りも披露された

8月20日、「第41回 生保内節盆踊り」がJR 田沢湖駅前広場を会場 に開催されました。当 日は天候にも恵まれ、 大勢の皆さんが参加し、 踊りの輪が拡がりまし

今年は羽後町の西馬 音内盆踊りも出演し、 観客の皆さんも大喜び。 終了の時間まで会場は 大いに賑わいました。



いただきました。 に、災害援助金10万円の寄附を 角館ライオンズクラブから市

災害援助金を寄贈

## 韓国の高校生 樺細工を通じて交流



説明を聞きながら熱心に作業

秋田市の秋田北高校と姉妹校提携をしている韓国高陽市の花水高校の生徒21人が本市を訪れ、樺細工制作体験を行いました。一行は4日間の日程で本県を訪れているもので、この日は午後3時から樺細工伝承館で3班に分かれ、樺細工製作者協会のみなさんによる指導のもと、樺細工コースターづくりを体験しました。

一行は楽しみにしていた樺細工制作体験ということで、部屋に入るなり早速指導される方々の話に耳を傾け手ほどきを受けながら、見慣れぬ道具(コテ)を手にして懸命にヤマザクラの皮を台木に貼っていました。中にはハングル文字に切った自分の名前を貼る生徒もおり、指導される方々も四苦八苦している様子も見られました。

花水高校一行は昨年も本市を訪れ樺細工制作体験を行っており、 今後も文化を通じて本市のことを知っていただく機会づくりを提供 していきたいと考えています。



はしご車での高所救助訓練





真剣な眼差しで訓練臨む

# 防災意識の向上目指し仙北市総合防災訓練

8月24日、仙北市と秋田県消防協会大仙市 仙北市美郷町支部の共催による「平成22年度 仙北市総合防災訓練」が西木町の各地で行わ れました。当日は防災関係機関と共に住民の 皆さんが協力し、地震及び火事を想定した様々 な消火訓練や救助訓練を実施し、防災への体 制強化と意識向上に努めました。

### 道路の役割や重要性を学ぶ 小学生道路パトロール体験会



追路を守るパトロール

8月5日、角館小学校の児童7名が参加し「小学生道路パトロール体験会」が開催されました。 これは「道路ふれあい月間」の行事として、国土 交通省角館国道維持出張所が行ったものです。

子供たちは暑い中、通学路点検・角館バイパスパトロール等を通して、道路の役割や重要性を学び、普段どのように道路の維持管理をしているのかを体験しました。

#### 姿見(鏡)寄贈 角館武道館へ

この度、小玉久視さん(角館町川原)から姿見(鏡)が寄贈されました。

この鏡は、日本舞踊「寿流」の名取り師範として83歳までご活躍された小玉さんのお母様が使用したもの。昨年亡くなられ「自宅に置くよりも市の施設で使用してほしい」と贈られました。市では角館武道館で使用することにしました。ありがとうございました。

な姿見 小玉さん (左)と大

